

特集  
健康  
福祉  
子育て  
お知らせ  
こすもす  
インフォメーション  
文化の森  
まちのわだい

**3/16** **三村優果さん**  
さわやか賞贈呈式

3月16日(金)、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の卓球競技女子ダブルスで優勝された三村優果さんが来庁され、稲美町民さわやか賞の贈呈式を行いました。

三村さんは、中学校から6年間親元を離れ、明德義塾中学校・高等学校で卓球を続けてこられました。4月からは神奈川県にある実業団の卓球部に入部することが決まっています。

懇談の中で三村さんは、「まずは社会人の大会での優勝を目標に、オリンピックを見据えて日本代表に選ばれるよう頑張っていきたい」と話されると、町長は「これからも努力を積み重ねられ、大会などで素晴らしい結果を残し、稲美町出身者として卓球界の発展に貢献して欲しい」と激励の言葉をかけられました。



▲ 実業団では練習漬けの日々を送られるそうです。ますます頑張ってください!

**3/20** **JOCジュニアオリンピックカップ**  
第14回都道府県対抗  
全日本中学生女子ソフトボール大会  
出場選手が町長を表敬訪問

3月25日(日)から27日(火)にかけて大阪府大阪市で開催される「第14回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会」に、稲美北中学校2年竹野ひかるさんと東夏澄さんの2人が兵庫県選抜チームの選手として出場するにあたり、3月20日(火)に町長、教育長を表敬訪問しました。

選手2人に対し、町長、教育長から「健康に気遣い試合では全力が尽くせるように頑張ってください」と激励の言葉が送られました。選手2人からは、試合への意気込みとともに、この大会での経験を今後チームに活かしたいとの思いが伝えられました。



▲ 出場選手の東さん(左)と竹野さん(右)

**おめでとうございます**  
**稲美町民さわやか賞**

文化・福祉・スポーツその他の分野において、めざましい活躍または心あたたまる行いにより、町民に希望と活力を与えている個人または団体に贈られます。



三村 優果さん  
(国北)

**功績**  
4歳で卓球を始め、小学1年生で出場した全日本卓球選手権大会で準優勝し、史上最年少でナショナルチーム入りを果たすほか、幼少の頃から現在に至るまで全国大会での入賞や日本代表に選ばれるなど、数々の実績を積み重ねられています。昨年、高校3年生の時に日本代表として出場した国際ベトナム大会で、個人第3位の成績を取られたほか、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)では、女子ダブルスで優勝されるなど、輝かしい活躍をされています。

**喜びの声**  
このような賞をいただき、今まで頑張ってきたことが繋がりと、支えてくださった方々へ恩返しができたと嬉しく思います。卓球は誰でもできる楽しいスポーツです。これからも大会などで活躍することで、「卓球は楽しい」ということを伝えていけたらと思います。

**3/19** **春季全日本**  
小学生男子ソフトボール大会  
出場メンバーが町長を表敬訪問

3月25日(日)から28日(水)にかけて宮崎県宮崎市で開催される「第11回春季全日本小学生ソフトボール宮崎大会」に出場するにあたり、「兵庫播州クラブ」の稲美町選出メンバー5人と監督、保護者の皆さんが、3月19日(月)に町長・教育長を表敬訪問しました。

懇談の中で町長は、「全国大会へ行くことは素晴らしいこと。県大会での優勝の勢いそのままに、存分に力を発揮して欲しい」と話され、教育長は、「選手みんなが着実に力をつけていることが表れている結果。全国大会でも頑張ってきてください」と激励されました。メンバーからは、「悔いのないよう優勝を目指して頑張ります」と大会への意気込みが語られました。

同チームは11月に開催された兵庫県大会で、全試合無失点という素晴らしい成績で優勝を果たし、全国大会への切符を手に入れました。



▲ 兵庫播州クラブ稲美町選出メンバーの5人

**2/20** **100歳** おめでとうございます

100歳を迎えられた藤本マサエさん(蛸草中条)、中島久枝さん(大池)を、2月20日(火)に古谷町長が訪問し、ご長寿をお祝いしました。

藤本さんは、若い頃から行動的、社交的で、娘家族に会いに赴任先のシンガポールへひとりで訪ねたり、近所の人とハワイ旅行をされたりしたそうです。「時無し大根」などの辛い食べ物が大好きという藤本さん、あたご大学で学んだ短歌が大好きで、長年の趣味とされてきたとのこと。

中島さんは、ひ孫と遊ぶことや近所を散歩することを楽しみとされています。家族からは、家事をよく引き受けてこられたことに感謝されていました。好きな食べ物は肉料理で、今までにいちばん嬉しかったことは、「孫がたくさんできたこと」と話してくださいました。お二人ともよく働いてきたことが、長寿の秘訣のようです。

3月1日現在、町内の100歳以上の人は14人となりました。



▲ 藤本マサエさん



▲ 中島久枝さん

**2/27** **稲美町少年善行賞**

2月27日(火)、いきがい創造センターで稲美町少年善行賞の表彰式を行いました。この賞は、町内小中学校の児童生徒を対象に、その行いが他の児童生徒の模範となり根づくことを願って贈られるものです。

今年度受賞したのは、稲美中学校生徒会拡大執行部と稲美北中学校生徒会拡大執行部の皆さんです。稲美中学校生徒会拡大執行部は、リーダーシップを発揮して学校行事を充実したものにしようという力を尽くし、生徒のためだけでなく、観覧に来られた保護者や地域住民に「感動と感謝」の気持ちを伝える演出を行い、成功に導きました。また、意見箱を設置して生徒の意見を集約したり、ボランティア活動として募金を行ったりするなど意欲的に取り組みました。



▲ 写真上段：稲美北中学校生徒会拡大執行部の代表者  
写真下段：稲美中学校生徒会拡大執行部の代表者

稲美北中学校生徒会拡大執行部は、生徒自身が自分の生活を見つめ直し、自分たちの学校をよりよくしていこうという提案をし、各クラスの討論でもリードして意見を集約し、「INAKITA ISM(稲北イズム)」という独自の学校生活の送り方を作り上げました。この取り組みは、生徒自身が自ら考え行動する機会となりました。